

# さんようおのだ 議会だより

2014.8

市議会の改革度 県内1位に! — 2

委員会レポート — 4

一般質問 — 8

議決結果 — 12



# 市議会の「改革度」 県内 1 位に！



## ● 前回よりも大きく順位上げる

地方議会の改革度について、早稲田大学マニフェスト研究所と日本経済新聞による調査結果がそれぞれ公表されました。情報公開度、住民参加度、運営改善度の3つの視点について、全国の地方議会のアンケート回答をもとにランキングを出したもので、どちらの調査においても、山陽小野田市議会は2012年の順位から大幅に順位を上げました。

昨年10月、尾山議長が就任時に合言葉として掲げた「議会改革度全国10位以内、県内1位！」が、ほぼ実現できたと言えます。

| 調査主体          |      | 早大マニフェスト研究所 |       | 日本経済新聞 |       |
|---------------|------|-------------|-------|--------|-------|
| 調査年度          |      | 2012年       | 2013年 | 2012年  | 2013年 |
| 対象自治体         |      | 都道府県・市区町村議会 |       | 市区町村議会 |       |
| 回答自治体数        |      | 1371        | 1444  | 810    | 813   |
| ラン<br>キン<br>グ | 全国   | 64位         | 29位   | 96位    | 9位    |
|               | 中国地方 | 4位          | 2位    | 7位     | 1位    |
|               | 山口県  | 2位          | 1位    | 3位     | 1位    |

## ● これまでの実績を評価

市議会では、2012年4月に議会基本条例を制定し、それに基づき、開かれた議会を目指して着実に改革を進めてきましたが、今回の順位アップは、過去2年間の議会改革に向けたさまざまな取組みに対して、一定の評価を得ることができた結果と言えるのではないのでしょうか。この順位に満足することなくさらに上を目指すとともに、議員個々の資質の向上に努めていくことも忘れてはなりません。

### これまでの 主な議会改革の取組み

- 議会報告会の開催
- 市民懇談会の開催
- 参考人制度の活用
- 議員間の自由討議の実施
- 政策討論会の開催
- 予算案や条例案の修正
- 表決の賛否公開
- ホームページの充実

## ● 今後の課題は情報発信

議会改革をさらに進めていくために、市議会では「議会のあり方調査特別委員会」を設置し、活発な議論をしています。今回の調査結果では情報公開度の評価が低く、今後の課題として、積極的に情報発信をしていく必要があることが明らかになりました。

現在、本会議の様子はインターネット中継されていますが、委員会については中継されていません。県内でもいくつかの市で、委員会のテレビ中継がされていますので、特別委員会では委員会のインターネット中継の早急な実現に向けて議論を重ねており、これが実現すれば「開かれた議会」へさらに一歩前進となります。



# 議会改革をさらに進めていきます

## 「議会のあり方調査特別委員会」中間報告



3月定例会において、さらなる議会改革を目指し議会がどうあるべきかを調査するために設置された「議会のあり方調査特別委員会」は、6月定例会でこれまでの議論について中間報告を行いました。

### ■ 検討項目やスケジュールを決定

検討項目は大きく分けると以下のようになります。

1. 議会機能について
  - (1) 監視機能
  - (2) 政策立案機能
2. 情報発信・情報収集・市民参加について
3. 議員報酬・議員定数について

委員会では、それぞれの項目の細目についてスケジュールを立て、検討していくこととなりました。

その中で特に早急に検討すべき事項として、監視機能や情報発信、情報収集の項目が挙げられ、それらについては優先的に議論を進めていくことにしました。

### ■ 検討結果

これまで6回の委員会が開催され、以下の2点について合意しました。

1. 自治会、諸団体対象政調会について  
議会の政策立案機能発揮のため、諸団体より情報収集を行う。
  - (1) 自治会懇談会の実施について  
実施要綱を作成し、それに基づき開催する。
  - (2) 市民懇談会の充実について  
実施要綱を改正し、情報収集の必要のある団体には積極的に議会から呼びかける。
2. 市議会のフェイスブックについて  
早急に市議会のフェイスブックページを開設すべきであり、所管委員会は広報広聴特別委員会議会広報部会とする。



# 委員会レポート

## ■ 総務文教常任委員会

### 条 例

#### ●市税条例等の一部を改正する条例

#### 軽自動車税…30年ぶりの改正

##### 概要

①法人市民税法人税割の税率の2.6%引き下げ（平成26年10月1日施行）

②軽自動車税の引き上げ

【主な改正内容】（平成27年4月1日施行）

| 車種区分                    |            | 現行    | 改正後    |
|-------------------------|------------|-------|--------|
| 原動機付自転車<br>50cc以下       |            | 1000円 | 2000円  |
| 4輪以上の<br>軽自動車<br>(新車のみ) | 乗用<br>自家用  | 7200円 | 10800円 |
|                         | 貨物用<br>自家用 | 4000円 | 5000円  |

③13年を経過した軽自動車の税率引き上げ

【主な改正内容】（平成28年4月1日施行）

| 車種区分          |            | 現行    | 改正後    |
|---------------|------------|-------|--------|
| 4輪以上の<br>軽自動車 | 乗用<br>自家用  | 7200円 | 12900円 |
|               | 貨物用<br>自家用 | 4000円 | 6000円  |

主な論点 「法人市民税が一部国税化され、地方に再配分されることだが、本市にプラスとなるのか」との問いに「現時点では配分について不明だが、法改正の趣旨が都市部と地方の偏りの是正にあることから、地方に手厚く配分されることを期待したい」「軽自動車税については国が示した標準税率に従うのではなく、市独自の配慮はできないのか」との問いに「もしこの税率を下回る税率を採用した場合、公共事業に対する起債に際し許可が必要になり、地方交付税

の算定も不利になる」との答弁がありました。

結果 賛成多数

### そ の 他

●厚狭地区複合施設整備事業（主棟建築主体工事）請負契約の締結

#### 4億9982万4000円で契約

概要 主棟建築主体工事を指名競争入札で行い、長沢建設・進栄建設特定建設工事共同企業体と請負契約を締結するものです。

主な論点 審査のなかで明らかになったことは

①工期は平成27年6月30日まで

②建築面積1502.36㎡、延床面積2144.03㎡、地上2階建ての鉄筋コンクリート造

③開館は平成27年12月以降

また「昨年7月臨時会における附帯決議で図書館の増床、防音室の設置を挙げていたがどのように対応したのか」との問いに、「すべて対応している」との答弁がありました。「今後、施設運用の中で要望・意見を聞きながら進めてほしい」との発言がありました。

結果 全員賛成



←複合施設イメージ図

## ■ 民生福祉常任委員会

### 請 願

◎ウイルス性肝炎患者への医療費等の助成に関する請願

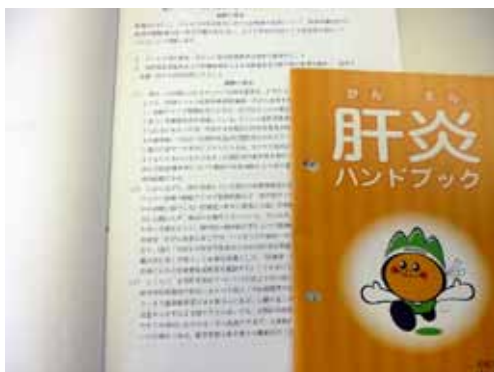
#### 厳しい基準の見直しを

**概要** ウイルス性肝炎は、患者の大半が輸血など医療行為による感染が原因であり、慢性肝炎から肝硬変、肝がんに進行する重大な病気です。市議会が以下の意見書を国に提出してほしい。

- ①ウイルス性肝硬変、肝がんに関わる医療費助成制度をつくること。
- ②身障者手帳の認定基準を患者の実態に即した基準とすること。

**主な論点** 「現在の国の助成は」の問いに「肝炎患者のインターフェロン治療などは国と県が半々で行っている」「市内の認定患者数は」の問いに「宇部、山陽小野田、美祢までの広域で、220名が認定されている」「肝炎患者の立証は」の問いに「医療感染か母子感染か、何十年もの潜伏期間を経て発症するため立証が極めて困難だ」との回答がありました。

**結果** 全員賛成で採択（本会議で請願が採択されたのを受けて、意見書が民福委員会で作成、提案され全員賛成で可決されました）



← 請願書と肝炎ハンドブック

### 所管事務調査

◎国民健康保険料の改定

#### 中低所得層に配慮

6月に改定された国民健康保険料について報告を受け、質疑が行われました。

**概要** 昨年一人当たり医療費は県下3番目で年々増加しているが、基金を取り崩して中低所得層に配慮した保険料率に改定しました。

**主な論点** 「医療費は上がったのに保険料を引き下げた理由は」の問いに「医療費の増減が保険料に連動しないように基金を活用した」「今後の国保料はどうなるのか」の問いに「国保の広域化や医療費の共同処理という県の動向を見据えて、基金を活用しながら、対応していきたい」との答弁がありました。

**結果** 今後とも医療費と国保料の正常な関係を維持するために、十分注視していきます。

#### 【国保料引き下げの例】

\*夫（自営業）、妻（無職）、子ども1人（3歳）の世帯の場合

| 夫の年齢 | 年所得   | 保険料引き下げ額 |
|------|-------|----------|
| 30歳  | 100万円 | 41340円   |
|      | 300万円 | 2770円    |
| 40歳  | 100万円 | 48070円   |
|      | 300万円 | 2070円    |



# 委員会レポート

## ■ 産業建設常任委員会

### 所管事務調査

#### 西見峠に新配水池

この事業は、上水道整備の一環で、山陽地区の「新配水池」をつくるものです。これにより、山陽地区の安定給水量を確保します。その役割として、

- ① 時間や季節に適した量の送水
- ② 災害時における緊急用水の確保

- ・ 築造場所 山陽地区の西見峠地内
- ・ 工事期間 平成 26 年 4 月 25 日  
                  )  
                  平成 29 年 3 月 31 日
- ・ 容　　量 2500m<sup>3</sup> × 2 基
- ・ 請負金額 5 億 9400 万円（消費税含）

【新配水池施設配置図】



### デマンド交通について

デマンド交通とは、市内の交通不便地域にお住いの方の予約に応じて運行する乗り合い交通機関です。自宅近くまで迎えに行き、指定された場所で降車、帰りはこの逆順で運行するドア・ツー・ドア方式が特徴です。

現在、市が計画している「厚狭北部デマンド交通」については、

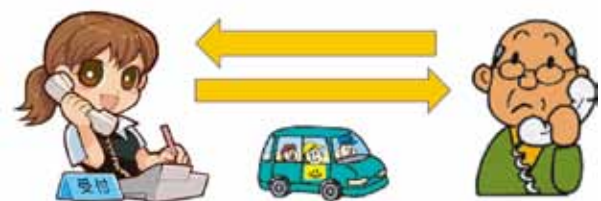
- ・ 実証運行期間 平成 27 年 1 月～9 月末
- ・ 対象地域 厚狭北部を「松ヶ瀬、平沼田、不動寺原など」の地域と「湯の峠、陽光台、山川など」の地域に分けて運行予定
- ・ 乗降場所 厚狭駅周辺及び加藤周辺の公共施設や商業施設
- ・ 運行便数 週 3 日、1 日 3 往復
- ・ 運 賃 一乗車につき 300 円

これに対して市民説明会では、

- ・ 個人病院で乗降できるようにしてほしい
- ・ 市民病院への乗り入れができるようにしてほしい
- ・ 予約のあり方を検討してほしい

などの意見要望がありました。

当委員会としては、これらの意見を踏まえて、他の公共交通も含めた政策などを提言していきます。





# 委員会レポート

## ■ 一般会計予算決算常任委員会

### 26 年度補正予算

**概要** 5939 万 7000 円の追加補正で、コミュニティ事業、市営サッカー場の防球フェンス設置、有料老人ホームのスプリンクラー整備補助、がん検診未受診者への無料クーポン配布、デマンド交通導入などが主な事業です。

### 災害時、器具の保管場所は

**概要** 宝くじのコミュニティ事業を活用して、災害時に市内 11 地区のセーフティネットワークが使用する発電機と照明器具を各 2 台、合計 22 台ずつ購入するものです。市セーフティネットワークに 200 万円を助成し購入します。

**主な論点** 「発電機など市セーフティネットワークの一括管理では、災害時などに機能しないのではないか」の問いに「宝くじ助成事業は事業主体の一括管理が基本です。しかし各地区が有効かつ迅速に活用できるよう助言・指導を行っていききたい」との答弁がありました。

### 未受診者に無料クーポン券

**概要** 働く世代の女性支援のためのがん検診事業で、未受診者に対して子宮頸がん、乳がんの無料クーポン券を配布するものです。

**主な論点** 「未受診者数は」の問いに「対象者は 1 万 1821 人で未受診者 8529 人です」「受診率を上げるためにどう対応するのか」の問いに「未受診者全員に無料クーポン券を配布し、土日の総合検診実施や保健師が訪問して啓発に歩きます」との答弁がありました。

### 来年 1 月に実証運行

**概要** 来年 1 月から実証運行が始まるデマンド交通（予約型乗合タクシー）導入の経費で、業務委託料など 270 万円の増額です。

**主な論点** 「利用者登録の見込みは」の問いに「27 地区在住の全ての方が対象者です」「委託先の選定は」の問いに「プロポーザル方式で決めます」との答弁がありました。

### 埴生小の耐力度調査

**概要** 当初予算における、埴生小学校の耐震化の設計委託料 1031 万 7000 円を皆減し、耐力度調査費用 1020 万 6000 円を追加するものです。

**主な論点** 「子どもの勉強への影響はどうか」の問いに「騒音の発生する工事は夏季休暇中に行う。工事に入るときは学校と協議をし、年内に完了予定である」「耐力度調査をしてその結果、どうするのか」の問いに「まずは話し合うために耐力度調査の結果が必要である点で住民と合意している」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成



← 発電機と照明器具

# 一般質問

## 道路の総点検の取組を

岡山 明 議員

**問** 道路の陥没に対し、マイクロ波を照射し、解析して、CTスキャンのように地中の空洞を、探査・調査発見をする診断技術を用いる取組を進めてはどうか。

**答** 道路の空洞調査をするシステムの中に、磁気レーダーで道路内の空洞を調査するという方法もあるようなので、そういったものも検討して、来年度以降、力を入れていきたいと考えている。



## よりよい介護支援のために

山田 伸幸 議員

**問** 介護支援を支える制度として介護ボランティアポイント制度がある。その発展方向として、3月議会の答弁で地域通貨を検討しているということだったが、介護支援ボランティアを支える制度となるのか。

**答** 介護ボランティアポイント制度はポイントの還元として、5千円の還元額以上のポイントがあった場合は、地域通貨の商品券で還元するものを検討している。将来的に、まちづくりに大いに活用できるような制度と考えている。



## 学校・家庭・地域の連携が重要

岩本 信子 議員

**問** 学校づくりと地域づくりの一体的な推進を図る地域支援本部事業として地域協育ネットがあるが、地域によって取り組みに温度差がある。今後の活動はどうか。

**答** 地域協育ネットは、学校・家庭・地域が役割と責任を自覚し相互に連携、協力して子ども達の育ちや学びを支援する住民参画による教育支援体制で、全ての小中学校で取り組んでいるが、実態に差がある。地域の方への情報発信や情報共有する機会を多く設け、またコーディネーターの研修もしていく。



放課後子ども教室の様子

## 学童保育指導員の処遇改善を

中島 好人 議員

**問** 学童保育は、親の働く権利と児童の放課後の生活を継続的に保障する重要な施設であるがそこで働く指導員の年収は、全国調査で150万円未満が68.8%、150万～300万円が25.9%となっている。国は、指導員の処遇改善のために一施設当たり156万円の追加補正をした。使い道は運営主体に任せられていることから、担当では適正に賃金に使われたかどうかチェックする必要がある。

**答** 国がそのようなよう求めているので、本市もそうする。



有帆児童館





# 一般質問

## 中山間地域づくりの取組は

笹木慶之 議員

**問** 本市のうち約3分の2の区域が県の定める中山間地域とされている。県は中山間地域づくりビジョンを策定し、多面的で重要な機能の保全に積極的な取組をしており、6月からは「県庁中山間応援隊」も活動開始した。これらを受けて本市の実態と今後の対応は。

**答** 応援隊は住民自らが地域の将来像や行動計画を定めた地域の夢プランの実現に向け派遣される。現在はその実態がないが、今後支援を希望する地域があれば対応していく。



## 「解釈改憲」は立憲主義の否定だ！

下瀬俊夫 議員

**問** 憲法9条を拡大解釈によって変更を迫る「解釈改憲」の動きが表面化している。「憲法は権力を縛るもの」との近代の立憲主義について「憲法擁護義務」のある市長の考えを聞きたい。

**答** 国家権力を国民意思の下において制限を加えることは、立憲主義の普遍的な原理である。憲法改正を国民投票によらず閣議決定とは姑息すぎるという懸念がある。憲法解釈変更への国民の評価は、次の選挙で下されることになり、私は国民を信頼する。



「解釈改憲」反対の集会在各地で

## 市民活動を応援する気はあるの？

吉永美子 議員

**問** 市民活動推進検討委員会は消滅したのか。平成18年11月に策定以来、全く更新されていない市民活動ガイドブックの更新と市ホームページへの掲載、情報発信や共有、そして市民活動基本方針の改訂版作成を行うべきではないか。

**答** 指摘の市民活動推進検討委員会を再度立ち上げる。市民活動ガイドブックについては改訂をせず、啓発活動も怠っていたことをすごく反省している。早急に見直し、公表する。市民活動基本方針は新規に策定したい。



## 有帆緑地の現況、環境保全対策は

福田勝政 議員

**問** 有帆緑地の埋め立ては計画どおりか。また、環境保全に問題はないか。

**答** 平成13年から20年間で埋め立て完了予定だが、計画容量の78%を埋め立てている。有帆緑地最終処分場は、県の許可を受けた安定型最終処分場で年1回宇部環境保健所の立入検査を受けている。また、浸透水の水質検査は地下水等の検査26項目を年1回、ペーハーや電気伝導率等は毎月環境調査センターで検査し、市のホームページで、結果を公表しておりすべて基準値内で問題はない。



有帆緑地



# 一般質問

## 高齢者の健康寿命延伸の対策は

中村博行 議員

**問** 医療費、介護給付費の削減のため、健康寿命の延伸が課題だが、どのような対策をとっているか。「ねんりんピック」の啓発を含め、高齢者参加の「ねんりん山口元気体操」など体操の普及に努めてはどうか。

**答** 「SOS健康づくり計画」に基づき、市民に自分の健康は自分で作るという意識を持っていただき、市民参加の健康づくりと保健サービスの充実を図っていく。「ねんりん山口元気隊」の招へい、体操の普及・啓発について関係各課とも前向きに検討する。



## 市の魅力度アップを！

伊藤 實 議員

**問** 住みよさランキングとは対照的に魅力度では全国でも下位に、県内市では最下位にランキングされ、悔しい思いである。行政改革大綱改訂版には「行政の本来の目的は、市民に高品質の行政サービスを提供することであり、幾ら費用を削っても市民が満足しなければ行政はその役割を果たしたとはいえません」というふうに記載されている。当市の魅力をさらに強化、発信し、交流人口、定住人口増加は喫緊の重要課題であり、市長の具体的な構想を問う。

**答** 市長が変われば市の魅力を変えることができる発想は、非常に危険な考え方である。

## 本市の「土曜授業」は？

杉本保喜 議員

**問** 本市の「土曜授業」に対する対応を問う。

**答** これは平成25年11月、学校や地域における多様な学習体験活動の機会の充実を図る目的で学校教育施行規則が改正されたものである。当市では、心ときめき教室やこども市民教育推進授業等多様な取組を推進していることから、教育委員会として正式授業を行うことは考えていない。



## 市の自然災害に対する施策は

石田清廉 議員

**問** 市では災害に強い街づくりを目指している。巨大化する災害に対する防災対策の重点施策及び市域の自然環境を含めた保全対策の状況はどうなっているか。

**答** 災害時の緊急情報を迅速、正確に伝達する手段の整備に力を入れている。また中山間地域の保水能力を高める施策の実施、県事業として海岸保全施設や市街地の水路排水施設整備を計画的に行っている。一方、河川においては、有帆川は整備が完了しており、厚狭川と桜川は桜川の一部を除き来年度未完了予定である。



厚狭川改修工事

# 一般質問

## 小野田駅前の灯を点けろ！

長谷川 知 司 議員

**問** 小野田駅前には、街灯も点かずスーパーやキオスクも撤退している。50年以上続いている区画整理の規制を解消し、市の玄関口として人が集まり、若き経営者等が頑張れるための積極的対策はどうか。

**答** 小野田駅周辺に人が住み、集い、商店が栄えるために早期に区画整理の規制を外す等、地元と一体となってまちづくりを推進していけるように、今後も市から積極的に地元へ投げかけていきたい。



## 「新」観光課設置と観光協会は

矢田 松 夫 議員

**問** 観光課は、観光部門に特化した魅力・情報発信・振興・交流人口の増加を目的に設置されたが、日々の「観光協会」業務により攻撃的な行動展開ができないのではないか。

**答** 3名の職員が、7～8割程度協会の業務をしている。今後は、業務の見直し、実施主体の明確化、協会の自主的運営を目指す。今秋に中長期的観光ビジョン（仮称）が出されるが、この中で協会と距離感を保ちながら新たな施策を打ち出していく。



観光協会の様子

## 1センター以外は考えていない

河野 朋 子 議員

**問** 3月定例会で提案された学校給食1センター案には、多くの問題点があるので議会として修正可決した。財政的に厳しいのは理解しているが、議会の議決を受けて、少しでもコストを抑え、市民が納得できる新たな方法・例えば1つの親校に2～3の子校・など再提案する考えはないのか。

**答** 当初から親子方式は教育委員会としては選択肢にない。1センターなら財政的に可能なので提案している。他の方法は考えていない。



センター建設候補地

## 訂正とお詫び

議会だより35号の以下の記載について、誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

・P5 民生福祉常任委員会レポート  
「健康保険料率は据え置き」→「健康保険料率は据え置きで当初予算を策定」

「県下2番目から5番目となり」  
→「医療費自体は非常に高い水準にあるが」

・P10 石田議員の一般質問  
「学年一学級の状況が5年継続すると適正配置を見直す。」→「5学級以下の状況が5年間継続すると適正配置を行う。」

・裏表紙 会期日程の曜日誤り

## ◎議案に対する議員の賛否状況

5月臨時会で議案等7件、6月定例会で議案等12件を審議し、賛否の分かれた1件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。

全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

| 平成26年6月定例会<br>議案の審議結果       | 議決結果 | 議員名  |     |      |       |     |     |      |      |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |
|-----------------------------|------|------|-----|------|-------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|
|                             |      | 石田清廉 | 伊藤實 | 岩本信子 | 大井淳一朗 | 岡山明 | 小野泰 | 尾山信義 | 河野平男 | 河野朋子 | 笹木慶之 | 下瀬俊夫 | 杉本保喜 | 中島好人 | 中村博行 | 長谷川知司 | 福田勝政 | 松尾数則 | 三浦英統 | 矢田松夫 | 山田伸幸 | 吉永美子 |
| 山陽小野田市税条例等の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○    | ○   | ○    | ○     | ○   | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ×    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    |

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席 尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

お知らせ

### 9月定例会会期日程(予定)

#### 本会議の日程

9月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

開会時間は午前10時です。

| 月 日                 | 本会議               |
|---------------------|-------------------|
| 9月 2日(火)            | 議案上程・説明           |
| 9月 3日(水)            | 総務文教常任委員会         |
| 9月 4日(木)            | 民生福祉常任委員会         |
| 9月 5日(金)            | 産業建設常任委員会         |
| 9月 8日(月)<br>～11日(木) | 一般会計予算決算<br>常任委員会 |
| 9月16日(火)            | 一般質問              |
| 9月17日(水)            | 一般質問              |
| 9月18日(木)            | 一般質問              |
| 9月22日(月)            | 一般質問              |
| 9月26日(金)            | 質疑・討論・採決          |

### 議会だよりのネーミング募集中!

こちらまでお寄せください。  
FAX 0836-82-1186

### 編集室より



セクハラ野次、不透明な政務活動費の支出など議員の不祥事が後を絶ちません。一部議員の言動が議会全体の信頼を失墜させていることは誠に残念です。

先日、本市議会が議会改革度調査で全国的に高い評価をいただきましたが、市民がそのことを実感できているかは別です。

議員自ら言動を慎み、名実ともに信頼される議会にむけて鋭意努力しなくてはなりません。

#### ◎広報広聴特別委員会議会広報部会

委員長 三浦英統 副委員長 山田伸幸  
 部会長 河野朋子 委員 岩本信子  
 委員 大井淳一朗 委員 河野平男  
 委員 笹木慶之 委員 下瀬俊夫



《表紙の説明》 来年3月開通予定の小野田湾岸線「新有帆川大橋(仮称)」について産業建設常任委員会が工事の進捗状況の説明を受け、その後、橋上を視察しました。この橋の完成により周辺の渋滞緩和が期待されています。